

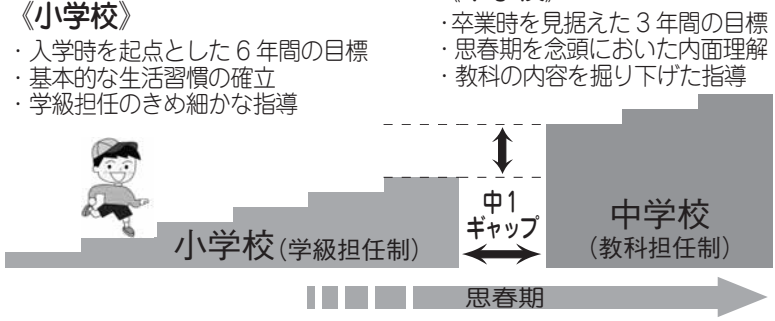


# 宇治市政だより

**11.11**  
 平成20年  
 (2008)  
 第1547号  
 ●期1日・11日・21日発行

発行 宇治市  
 編集 広報課  
 ☎611-8501 宇治市宇治琵琶33  
 ☎ 22-3141 (代表)  
 FAX 20-8779  
 ホームページ  
 http://www.city.uji.kyoto.jp/  
 携帯 http://m.city.uji.kyoto.jp  
 テレビサービス ☎ 20-8777

## ●現在の教育システム



## ●小・中一貫教育の考え方

前期				中期			後期		目標	
小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3		
学級担任制				教科担任制						
これまでの小学校の良さを生かし、きめ細かな指導による基本的な生活習慣の確立や、学習における基礎的・基本的な内容の定着を図ります。				小学校生活から中学校生活へのスムーズな移行を図れるよう、小・中学校の教員が協力をし、より専門性を発揮し、これにより、学力・社会性・規範意識を培い、充実した学習環境を整えます。					義務教育9年間の総括として、自己学習能力を伸ばし、主体的な学習態度を身に付け、社会生活に必要となる基礎的・基本的な能力を身に付け、将来の成長を促します。	

少子化や高度情報化など、変化の激しい社会に間に合った教育システムを、それぞれの間を小学校6年間と中学校3年間に分け、それぞれの子どもの成長に合わせた教育を行います。

戸惑いを見せる子どもたち

（左上図「現在の教育システム」を参照）のもとで教育を行っています。

子どもたちの中には、「自分のことが分かってもらえない」と不満を持つたり、「中学生になると担任と接する時間が少なくなる」と、小学校と違う教育システムに戸惑いや負担を感じて学校生活に対する意欲が減少する、いわゆる「中1ギャップ」の様子が見られます。

こうしたことから子どもたちの発達の変化に対応し、これまでの小学校や中学校の良さを生かしながら、「成長」という階段を一段ずつ、滑らかに上れるような新たな教育システムである小・中一貫教育が必要となってきました。

**子どもたち一人ひとりの育ちを支援**

教育で重要なことは、小・中学校の教員が一体

## 現在の教育システム

現在、義務教育9年間の目標を個々に設け、異なる教育システムを、それぞれの間を小学校6年間と中学校3年間に分け、それぞれの子どもの成長に合わせた教育を行います。

## 小中一貫教育の考え方

市では、24年度から市内全ての市立小・中学校で小中一貫教育を「小・中学校を同一敷地内に置き、9年間の一貫した指導を行う小中一貫校」と、「敷地は分かれているが、小・中学校の教育内容を連結させ、教員が交流しながら指導する小中一貫教育校」の二つの形態で行います。この小中一貫教育を通して、子どもたち一人ひとりの学力の充実・向上を図るとともに、豊かな人間性や社会性を育み、義務教育の9年間で「子どもたちが自ら将来を切り拓く力」を身に付けることを目指します。

# 宇治市の小中一貫教育

## 市が目指す新たな教育システム

おいて、今日、子どもたちの発達にも変化が見られます。例えば、思春期はこれまで中学生の時期のことと思われていたが、今や「思春期の入り口」は小学校高学年とも言われています。子どもたちの心の中の成長（思い）と、学校の指導とがうまくかみ合わなくなってきた状態もあります。

子どもたちの中には、「自分のことが分かってもらえない」と不満を持つたり、「中学生になると担任と接する時間が少なくなる」と、小学校と違う教育システムに戸惑いや負担を感じて学校生活に対する意欲が減少する、いわゆる「中1ギャップ」の様子が見られます。

こうしたことから子どもたちの発達の変化に対応し、これまでの小学校や中学校の良さを生かしながら、「成長」という階段を一段ずつ、滑らかに上れるような新たな教育システムである小・中一貫教育が必要となってきました。

となり、「一人の人間の成長」という視点で、義務教育終了時の目標に向かって9年間、責任を持って指導を行うことです。そのためには、小・中学校で目標を共有し、学習指導や生徒指導等を組織的に展開する必要があります。

市では、子どもたち一人ひとりの育ちを支援するため、この新たな教育システムである小中一貫教育を24年度から全ての市立小・中学校で行います。

## 地域社会に貢献した人を表彰します

この制度は、善行や自発的に行われた優れた地域活動により、地域社会に特に顕著な貢献をした人（団体）を表彰し、住民自治の精神に基づく地域社会づくりを一層推進することを目的としています。

◎表彰の対象：市内において自発的に行った次のような活動のうち、特に地域社会に対する貢献が顕著なものを対象とします。ただし、公共団体の職及びそれらの団体から

委嘱された職を通じて行われた業務等や、被表彰候補者自身または、その親族、同居人等のための活動、営利活動等は対象となりません。また、紫式部文学賞、紫式部市民文化賞、市ジュニア文化賞、市スポーツ賞など、他の表彰制度の対象となる活動は、本表彰の対象となりません。◎救助活動・復旧活動に尽力した◎地域コミュニティの向上や地域の発展・まちづくり等に永年尽力している

◎事故防止に永年尽力している◎生活環境の向上に永年尽力している◎青少年の育成・指導等に永年尽力している◎福祉の推進に永年尽力している◎自然環境の保護に永年尽力している◎市民文化の振興や文化財の保護に永年尽力している◎国際交流、都市間交流に永年尽力している

なお、「永年」とは原則として、20歳以上の人は同一の地域活動を通じて通算で10年以上、20歳未満の人は引き続き5年以上とします。なお、70歳以上の人は異なる地域活動を通じて10年以上行っている場合も対象とします。

◎推薦方法：文化自治振興課にある推薦書に必要事項を書き、同課に提出してください。なお、提出の際に、活動の内容などが分かる資料の提出を求める場合があります。

◎推薦期間：11月12日(水)～12月12日(金)

◎選考：推薦を受けた被表彰候補者の中から、選考委員会で選考します。

◎表彰：21年3月1日(日)の市政功労者等表彰式で行います。

◎文化自治振興課

## アクトパル宇治で作ろう

### 天体望遠鏡をつくろう！

- ★とき…12月6日(土)、午後5時～9時(雨天決行)
- ★ところ…アクトパル宇治
- ★対象…4歳以上
- ★定員…40人(多数の場合は抽選)
- ★内容…天体望遠鏡を作って月を観察する
- ★参加費…200円。別途、材料費として天体望遠鏡1台につき1260円が必要。
- ★申し込み…はがき・ファクスで「天体望遠鏡をつくろう」、参加者全員の氏名・年齢(学年)・性別、代表者の郵便番号・住所・電話番号と、購入する天体望遠鏡(材料)の台数を書き、11月19日(水)(消印有効)までにアクトパル宇治(〒601-1392 西笠取辻出川西1、FAX 075-575-3511)へ。当選者のみはがきで連絡します。

### クリスマスリース作り

- ☆とき…12月7日(日)、◎午前の部=9時半～正午◎午後の部=1時半～4時
- ☆ところ…アクトパル宇治
- ☆対象…4歳以上
- ☆定員…各40人(多数の場合は抽選)
- ☆内容…山に生えている「つる」を使ってクリスマスリースを作る
- ☆参加費…各200円
- ☆申し込み…はがき・ファクスで「クリスマスリース作り」、参加希望時間(午前・午後いずれか)・参加者全員の氏名・年齢・性別、代表者の郵便番号・住所・電話番号を書き、11月20日(木)(消印有効)までにアクトパル宇治(〒601-1392 西笠取辻出川西1、FAX 075-575-3511)へ。当選者のみはがきで連絡します。

◎アクトパル宇治 ☎ 075-575-3501

12月7日(日)は宇治市長選挙の投票日です